

【参考資料】

鉄道事業・軌道事業

(1) 改定率一覧

上限認可運賃

	定期外	定期			合計
		通勤	通学	計	
鉄軌道	6.1%	6.5%	6.5%	6.5%	6.3%

実施運賃

	定期外			定期			合計
	現金	キャッシュレス	計	通勤	通学	計	
鉄軌道	6.1%	6.4%	6.3%	6.5%	6.5%	6.5%	6.4%

(2) 上限運賃および実施運賃 比較表

①鉄道線

○普通旅客運賃（大人）

営業キロ	現行 上限運賃	申請 上限運賃	現行 実施運賃	改定 実施運賃 現金決済	キャッシュレス 割引
0.0 ~ 3.0 キロ	230円	250円	230円	250円	230円
3.1 ~ 4.0 キロ	280円	300円	280円	300円	280円
4.1 ~ 5.0 キロ	300円	320円	300円	320円	300円
5.1 ~ 6.0 キロ	350円	380円	350円	380円	360円
6.1 ~ 7.0 キロ	370円	400円	370円	400円	380円
7.1 ~ 9.0 キロ	430円	460円	430円	460円	440円
9.1~ 11.0 キロ	490円	520円	490円	520円	500円
11.1~ 13.0 キロ	550円	580円	550円	580円	560円
13.1~ 15.0 キロ	610円	640円	610円	640円	620円
15.1~ 17.0 キロ	670円	700円	670円	700円	680円
17.1~ 19.0 キロ	720円	750円	720円	750円	730円
19.1~ 21.0 キロ	770円	800円	770円	800円	780円
21.1~ 23.0 キロ	820円	850円	790円	820円	800円
23.1~ 25.0 キロ	870円	900円	790円	820円	800円

○定期旅客運賃（通勤定期1ヶ月）

営業キロ	現行上限運賃	申請上限運賃	現行実施運賃	改定実施運賃
0.0 ~ 3.0 キロ	6,510円	7,110円	6,510円	7,110円
3.1 ~ 4.0 キロ	9,170円	10,010円	9,170円	10,010円
4.1 ~ 5.0 キロ	11,090円	11,880円	11,090円	11,880円
5.1 ~ 6.0 キロ	13,070円	14,260円	13,070円	14,260円
6.1 ~ 7.0 キロ	13,860円	15,050円	13,860円	15,050円
7.1 ~ 9.0 キロ	16,240円	17,430円	16,240円	17,430円
9.1 ~ 11.0 キロ	18,620円	19,800円	18,620円	19,800円
11.1 ~ 13.0 キロ	20,990円	22,180円	20,990円	22,180円
13.1 ~ 15.0 キロ	23,370円	24,560円	23,370円	24,560円
15.1 ~ 17.0 キロ	25,740円	26,930円	25,740円	26,930円
17.1 ~ 19.0 キロ	27,720円	28,910円	27,720円	28,910円
19.1 ~ 21.0 キロ	29,700円	30,890円	29,700円	30,890円
21.1 ~ 23.0 キロ	31,680円	32,870円	31,680円	32,870円
23.1 ~ 25.0 キロ	33,660円	34,850円	31,680円	32,870円

○定期旅客運賃（通学定期1ヶ月）

営業キロ	現行上限運賃	申請上限運賃	現行実施運賃	改定実施運賃
0.0 ~ 3.0 キロ	4,810円	5,250円	4,810円	5,250円
3.1 ~ 4.0 キロ	6,720円	7,330円	6,720円	7,330円
4.1 ~ 5.0 キロ	8,070円	8,640円	8,070円	8,640円
5.1 ~ 6.0 キロ	9,510円	10,370円	9,510円	10,370円
6.1 ~ 7.0 キロ	10,080円	10,950円	10,080円	10,950円
7.1 ~ 9.0 キロ	11,810円	12,680円	11,810円	12,680円
9.1 ~ 11.0 キロ	13,540円	14,400円	13,540円	14,400円
11.1 ~ 13.0 キロ	15,270円	16,130円	15,270円	16,130円
13.1 ~ 15.0 キロ	17,000円	17,860円	17,000円	17,860円
15.1 ~ 17.0 キロ	18,720円	19,590円	18,720円	19,590円
17.1 ~ 19.0 キロ	20,160円	21,030円	20,160円	21,030円
19.1 ~ 21.0 キロ	21,600円	22,470円	21,600円	22,470円
21.1 ~ 23.0 キロ	23,040円	23,910円	23,040円	23,910円
23.1 ~ 25.0 キロ	24,480円	25,350円	23,040円	23,910円

②軌道線

○普通旅客運賃（均一制）

現行上限運賃	申請上限運賃	現行実施運賃	改定実施運賃 現金決済	キャッシュレス 割引
230 円	250 円	230 円	250 円	230 円

○定期旅客運賃（通勤定期1ヶ月）

現行上限運賃	申請上限運賃	現行実施運賃	改定実施運賃
8,320 円	9,110 円	8,320 円	9,110 円

○定期旅客運賃（通学定期1ヶ月）

現行上限運賃	申請上限運賃	現行実施運賃	改定実施運賃
6,050 円	6,630 円	6,050 円	6,630 円

(3) 鉄軌道部門収支

(単位：百万円)

	2024 年度	2025 年度	2026～2028 年度（3 年間平均）	
			現 行	改 定
収 入	3,903	4,138	4,171	4,461
支 出	3,742	4,174	4,731	4,728
差 引	161	▲36	▲560	▲267
収支率	104.3%	99.1%	88.2%	94.4%

(4) 運賃収入内訳

(単位：百万円)

	2024 年度	2025 年度	2026～2028 年度（3 年間平均）	
			現 行	改 定
定期外	2,207	2,417	2,447	2,632
定期	1,284	1,326	1,343	1,448
計	3,491	3,743	3,790	4,080

(5) 需要見通し

(単位：千人)

	2024 年度	2025 年度	2026 年度 (推定)	2027 年度 (推定)	2028 年度 (推定)
定期外	9,394	9,592	9,593	9,717	9,841
前年比	—	2.1%	0.0%	1.3%	1.3%
定期	8,144	8,250	8,238	8,370	8,498
前年比	—	1.3%	▲0.1%	1.6%	1.5%

## (6) 設備投資計画

設備投資計画

(単位：百万円)

	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度 (推定)	2027 年度 (推定)	2028 年度 (推定)
安全対策	105	236	301	274	880	456	825
サービス改善	119	195	808	786	1,509	39	66
その他	15	22	462	37	18	13	6
合 計	239	453	1,571	1,097	2,407	508	897

## (7) 主要プロジェクトの内容

### ①新型郊外電車車両の導入

- ・目的 老朽化した車両の代替更新のため、VVVF インバータを搭載した環境にやさしくバリアフリーに対応した新型車両を導入いたします。
- ・効 果 低炭素化社会の実現に寄与する消費電力の少ない軽量化車両に更新し、さらなる安全輸送の確保と環境負荷の低減が図られます。

### ②郊外電車変電所の整備

- ・目的 老朽化した変電所を順次更新することにより、郊外電車への電力供給の安定化を図ります。
- ・効 果 鉄道をご利用いただく方々に安定した輸送を確保いたします。

### ③駅の整備

- ・目的 沿線自治体のまちづくりと連携し、老朽化した駅施設の建て替えや修繕時に合わせスロープの整備等、バリアフリー化を計画的に推進いたします。
- ・効 果 鉄道駅をご利用いただく方々の安全性や利便性向上が図られます。

## (8) これまでの経営合理化の状況及び今後の取り組み

電車運行にかかる電気代の高騰、老朽化した車両や施設の修繕に必要な原材料価格の高騰により輸送経費が増大する中、乗務ダイヤ変更や要員配置の見直しなど合理化を図るとともに、ICOCA 等全国交通系 IC カードを電車全線にサービス拡大しキャッシュレス化の推進による利便性の向上に積極的に取り組んでまいりました。今後も収支の改善を図りつつ、バリアフリー化の推進、老朽化した車両・施設の計画的な更新、そして持続可能な運行体制を支える人材確保を進め、安全輸送の確保と利便性の向上に努めます。

## (9) 運賃・料金の多様化の内容

### ①キャッシュレス割引

運賃をモバイルICOCAや全国交通系ICカードなどのキャッシュレス決済で支払った場合は20円割引し、キャッシュレス化を推進いたします。

②乗り放題フリー乗車券 1Dayチケット

市内電車と郊外電車が一日乗り放題のデジタル乗車券を発売しており、利用状況に応じてお得な乗車券となっております。

(10) 利用者サービスの向上策

①鉄道線新型車両導入

VVVFインバータを搭載した新型車両を導入することにより、利用客への快適な移動を提供し、バリアフリー化の推進および環境への負荷低減にも貢献いたします。

②運転保安度の向上

重軌条化・PC枕木の設置・軌道修繕工事等、順次実施して輸送の安全確保に努めます。

③インバウンド対応・安全性の向上

インバウンド対応として多言語対応の自動放送装置と行先表示器の設置、安全性の面では車両へのドアチャイムの設置など順次対応していき利用者の利便性と安全性の向上に努めます。

④駅舎のリニューアル、バリアフリー化の推進

老朽化した駅舎を計画的に改築、バリアフリー化を推進し皆さんにご利用いただきやすい駅を目指し旅客サービスの向上を図ります。

以上